

熊本県・天草地域の現状と展望について

2022年6月29日

熊本経済同友会

笠原 慶久

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

1. (1) プロフィール 笠原慶久



かさはら よしひさ
笠原 慶久

1962年（昭和37年）
1月5日生まれ
（満60才）

職歴

1984年 4月	富士銀行 入行（三田支店配属） 大阪営業部、米国留学(MBA)、ロスアンゼルス支店、人事部 みずほHD人事部、みずほコーポレート銀行営業第四部次長 企画担当役員付コーポレートオフィサー等を経て
2007年 4月	みずほ銀行 熊本支店長
2009年 4月	同 職域営業部長
2010年 4月	同 法人業務部長
2011年 6月	みずほ信託銀行 信託総合営業第一部長
2014年 4月	同 常務執行役員
2015年 4月	(株)肥後銀行入行 常務執行役員 監査部長
2016年 6月	九州フィナンシャルグループ 取締役
2018年 4月	(株)肥後銀行 代表取締役 副頭取
2018年 6月	(株)肥後銀行 代表取締役頭取（現任）
2019年 6月	(株)九州フィナンシャルグループ 代表取締役社長（現任）
2019年 7月	（公財）地方経済総合研究所 代表理事（現任）
2021年 4月	熊本経済同友会 代表幹事（現任）

趣味

読書・テニス・ゴルフ・ジョギング・囲碁(二段)・音楽絵画鑑賞

1. (2) プロフィール 熊本経済同友会 (概要)

団体名	熊本経済同友会	設立	1955年9月
所在地	熊本市中央区城東町4-2	会員数	314名 (2022年5月31日現在)
代表幹事	■ 平田 雄一郎 <平田機工(株)> ■ 笠原 慶久 <肥後銀行>		
副代表幹事	■ 野々口 弘基 <地域交通ホールディングス> ■ 福岡 哲生 <鶴屋百貨店> ■ 富永 哲生 <ハウディ>		
常任幹事会	■ 議長：本松 賢 <テレビ熊本> ■ 副議長：島添 正規 <本田技研工業(株)>		

【2022年度 活動方針】 熊本の真の強みを発揮し、コロナ禍を克服する
～今こそ、次世代への扉を開く変革の行動を！～

1. コロナ禍を克服する経営を確かなものにする
2. 次世代への扉を開く変革を進める
3. 熊本の真の強みを発揮する

「熊本版DX & SDGs」の経営モデルを創り上げ、
Social Well-being（社会的幸福）を高めるため、
5つの委員会を8委員会に改め、
具体的に「動く」年とする。

1. (3) プロフィール 熊本経済同友会 (活動内容)

委員会名	活動目標	委員長
企画総務委員会	同友会の機能「教室」と「倶楽部」の充実をめざして	大政建設(株) 森山 澄江
熊本フォーラム委員会	次世代への扉を開く議論と交流を目指して	(株)コスギ不動産 小杉 堅太
経営活性化・D X委員会	ニューノーマル時代のD X推進に向けて	(株)Lib Work 瀬口 力
産官学連携委員会	産官学連携による新たなビジネスモデルの構築へ	(株)KDS熊本 ドライビングスクール 永田 佳子
サステナビリティ委員会	持続可能な地域社会の実現と、企業の持続的成長に向けて	熊本トヨタ自動車(株) 井原 宏
まちづくり委員会	熊本のまちづくり戦略の検討とその具現化に向けて	九州電力(株) 川畑 健二
熊本の価値創造委員会	グローバル時代の新たな価値創造へ向けて	(株)九建総合開発 新永 隆一
少子化対策・女性活躍委員会	女性が安心して活躍し家庭や子育てに希望が持てる社会の実現に向けて	(株)セルモ 岩上 梨可

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

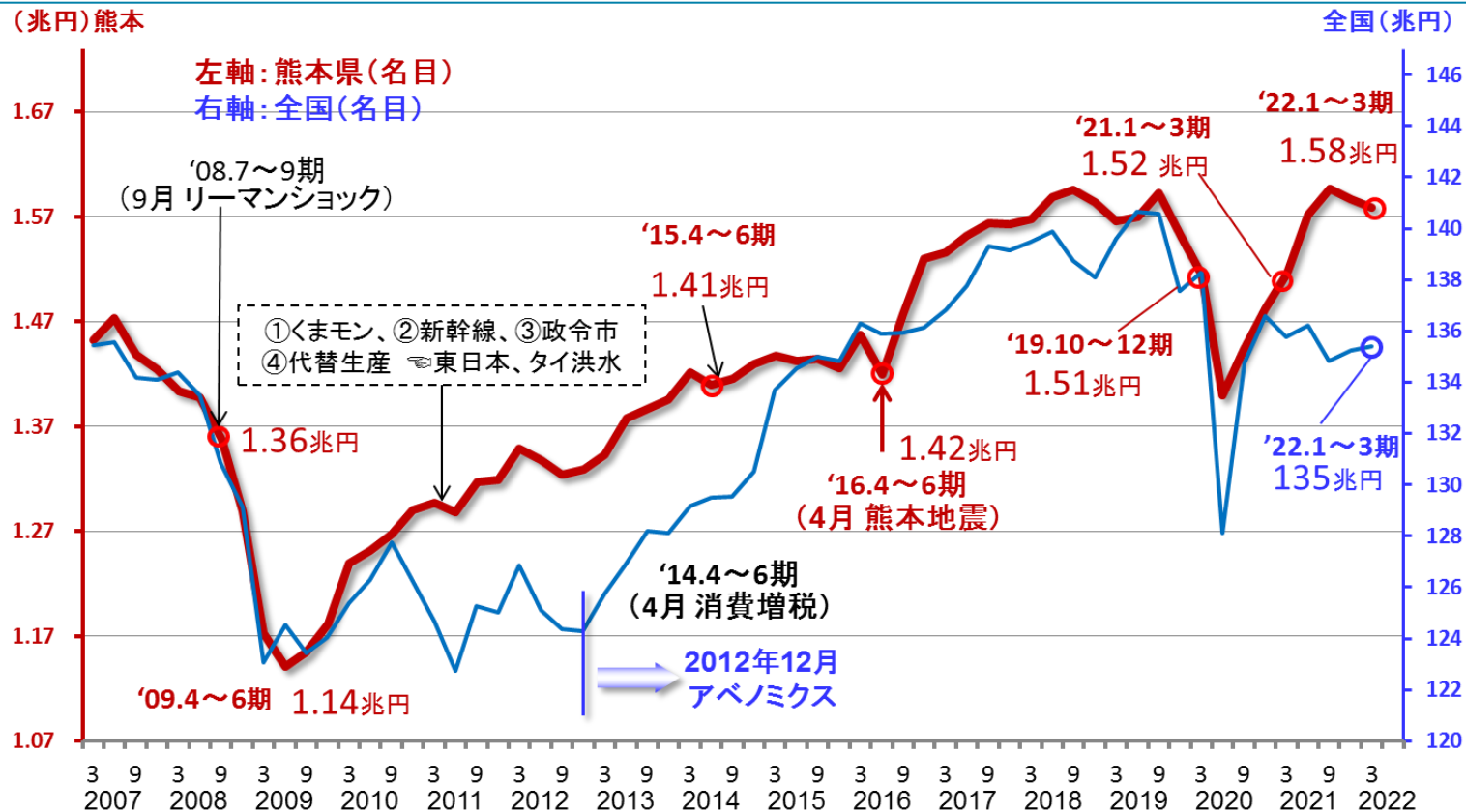
3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

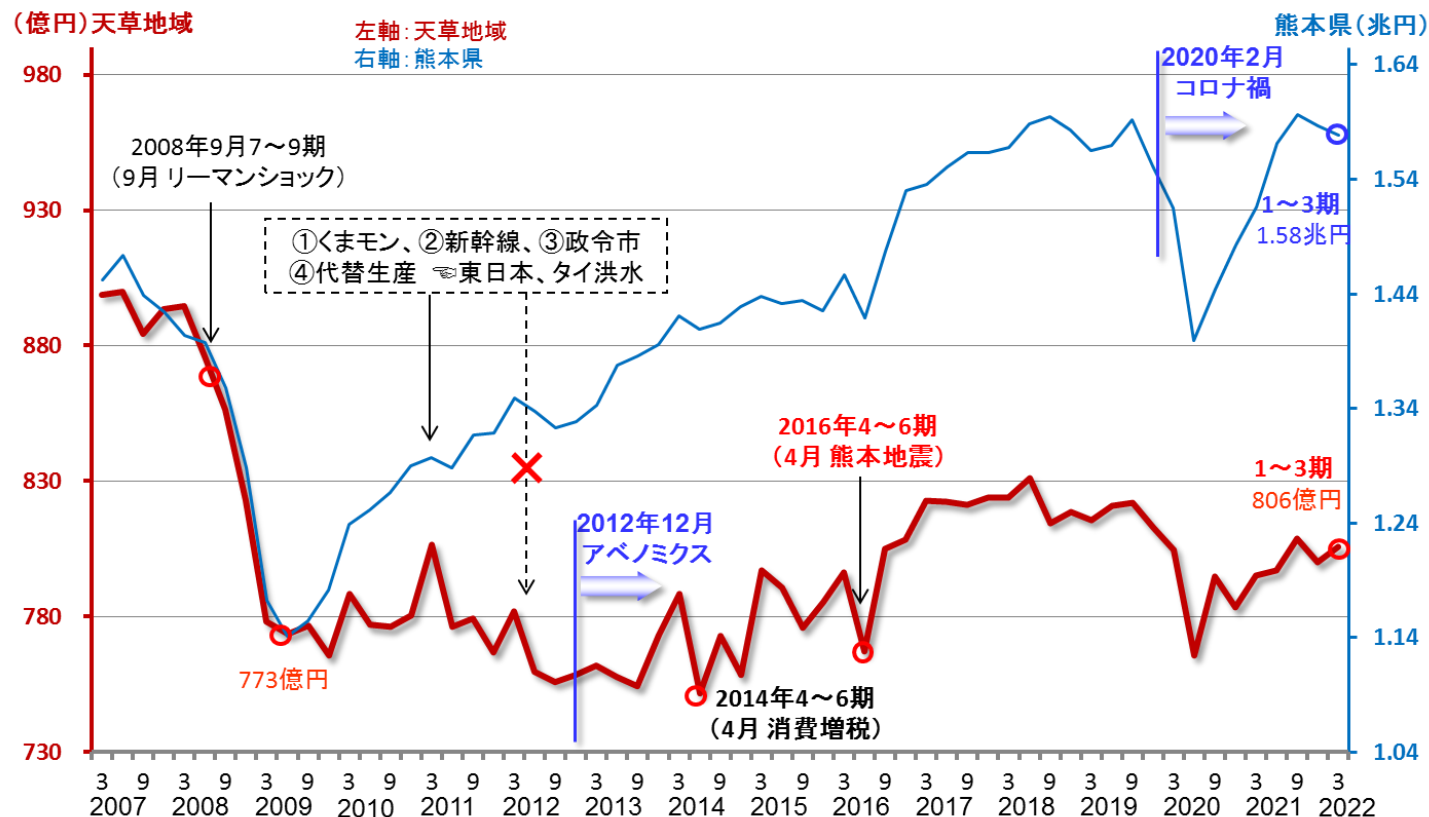
2. (1) 熊本県GDP推計<四半期>

- 全国GDPはコロナ後の落ち込みから回復できていないが、
熊本県GDPは、**コロナ禍前水準まで回復**



2. (2) 天草地域GDP推移<四半期>

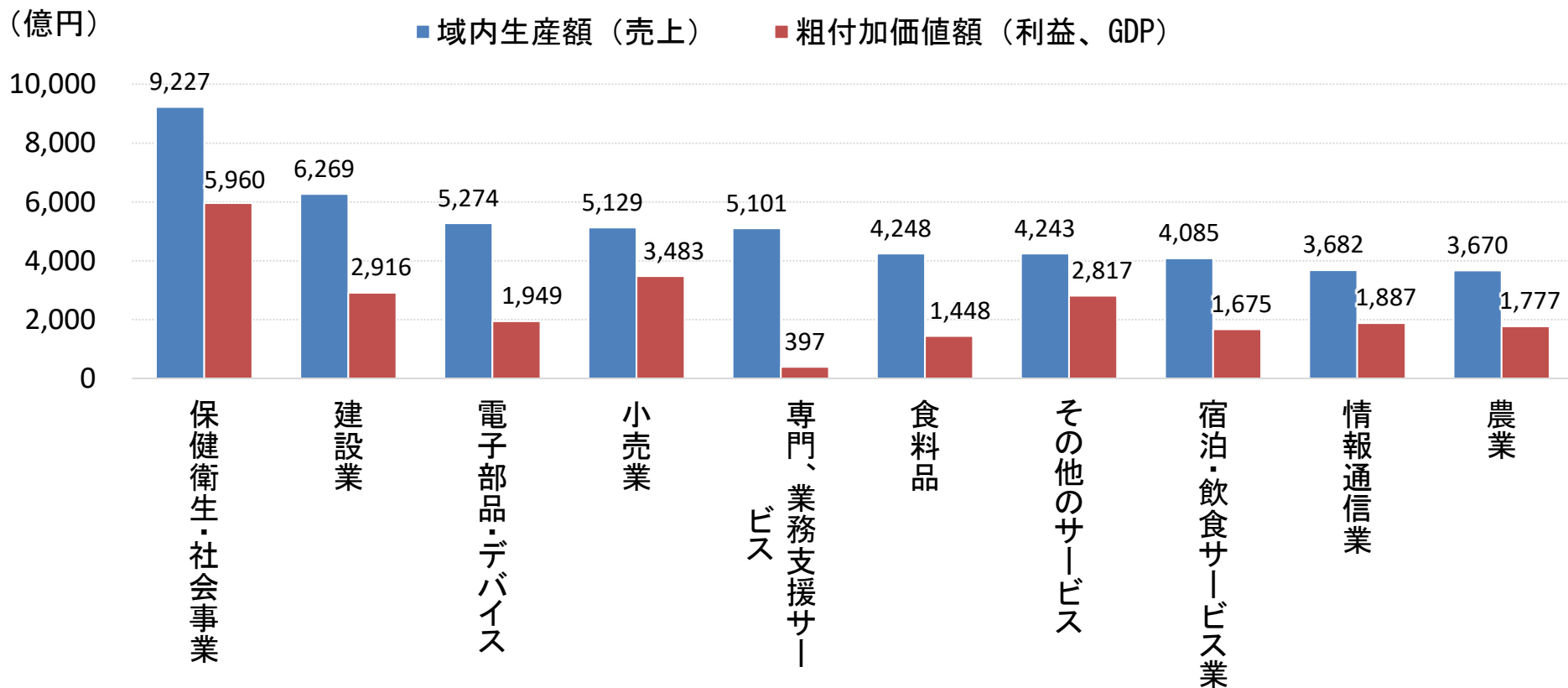
➤ 下記は熊本県と比較した天草地域（天草、上天草、苓北）のGDP
県が上昇基調にある一方、天草地域は横ばい



資料：地方經濟綜合研究所

2. (3) 熊本県の経済＜生産額・粗付加価値額＞

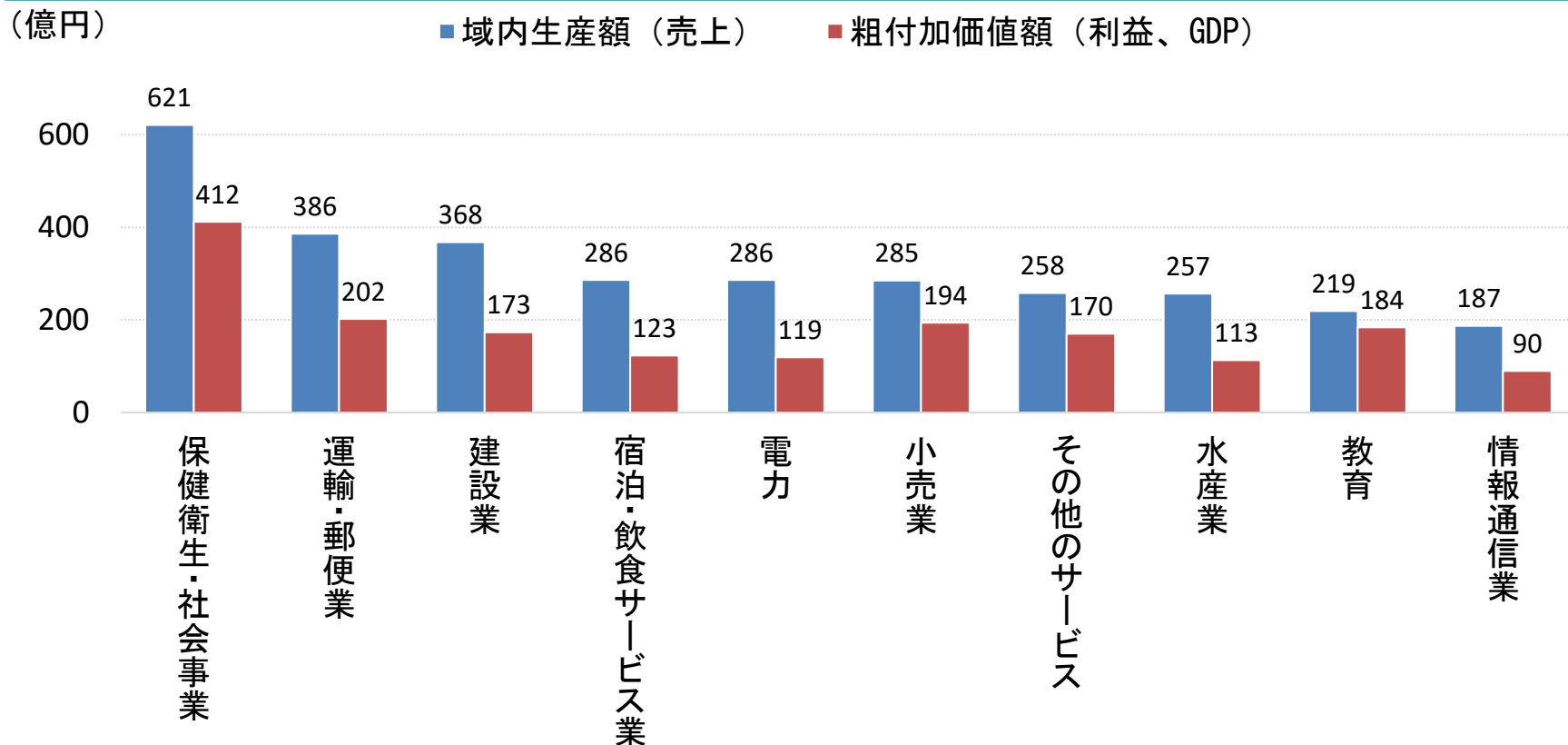
- 生産額（売上）が大きい部門は**保健衛生・社会事業、建設業、電子部品・デバイス**等
- 付加価値額（利益、GDP）は**保健衛生・社会事業、小売業、業務支援サービス**等で高い



資料：環境省「地域経済循環分析」2015年推計

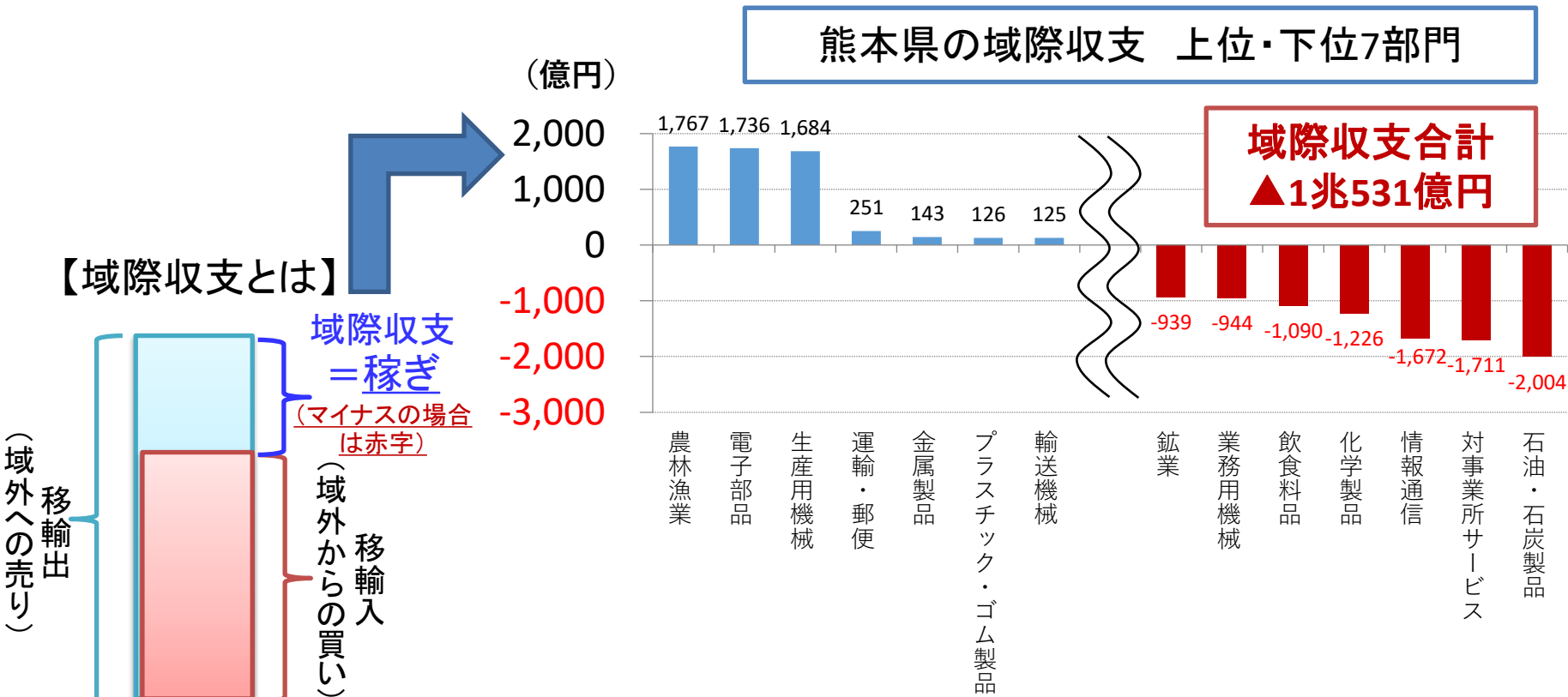
2. (4) 天草地域の経済＜生産額・粗付加価値額＞

- 生産額（売上）が大きい部門は**保健衛生、運輸・郵便、建設、宿泊・飲食、水産**等
- 付加価値額（利益、GDP）は**保健衛生、運輸・郵便、小売**等で高い



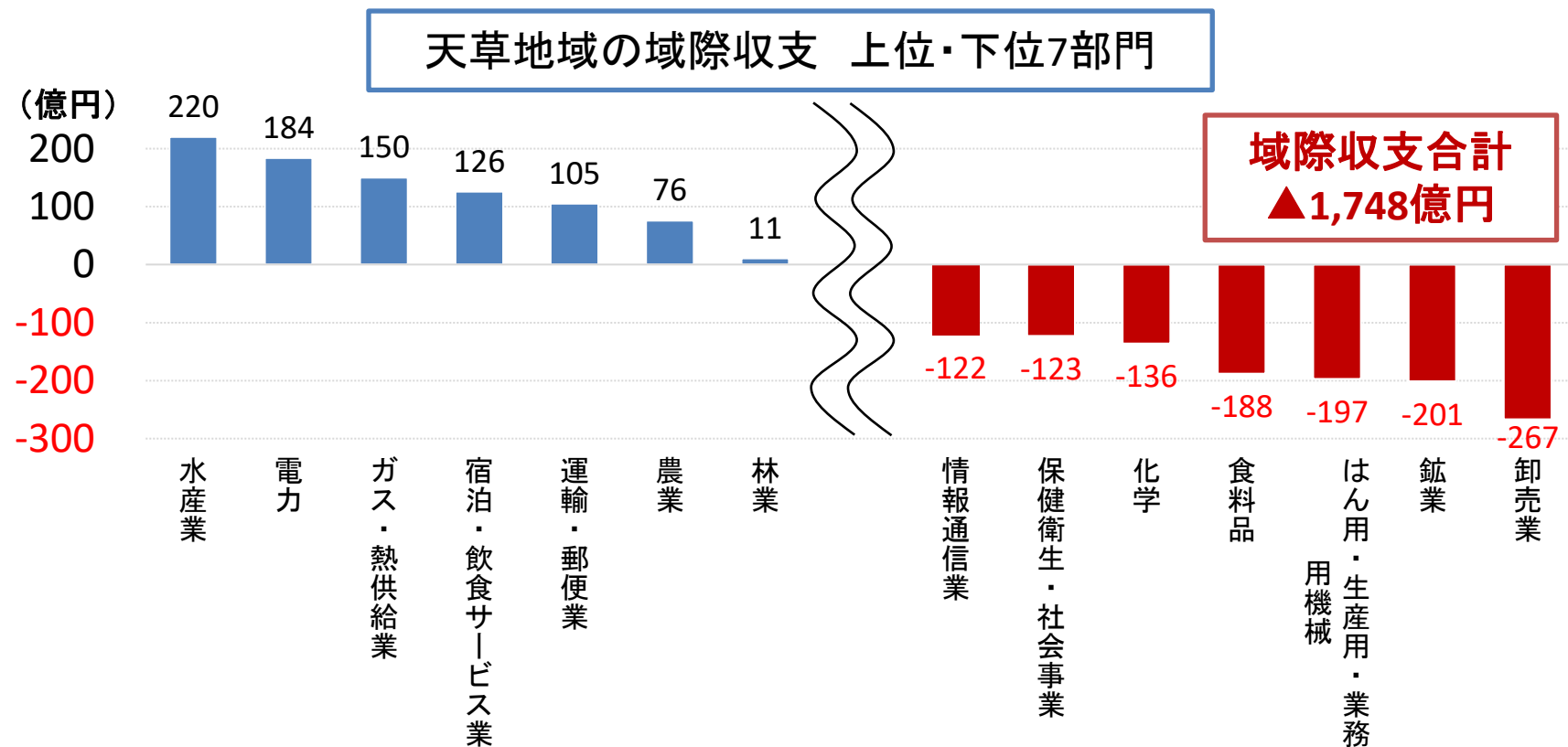
2. (5) 熊本県の経済<域際収支>

- 熊本県の域際収支（≡貿易収支）が高い部門（＝稼ぐ部門）には、**農林漁業、電子部品、生産用機械**などがある一方で、**石油・石炭製品、対事業所サービス**などの赤字幅が大きい



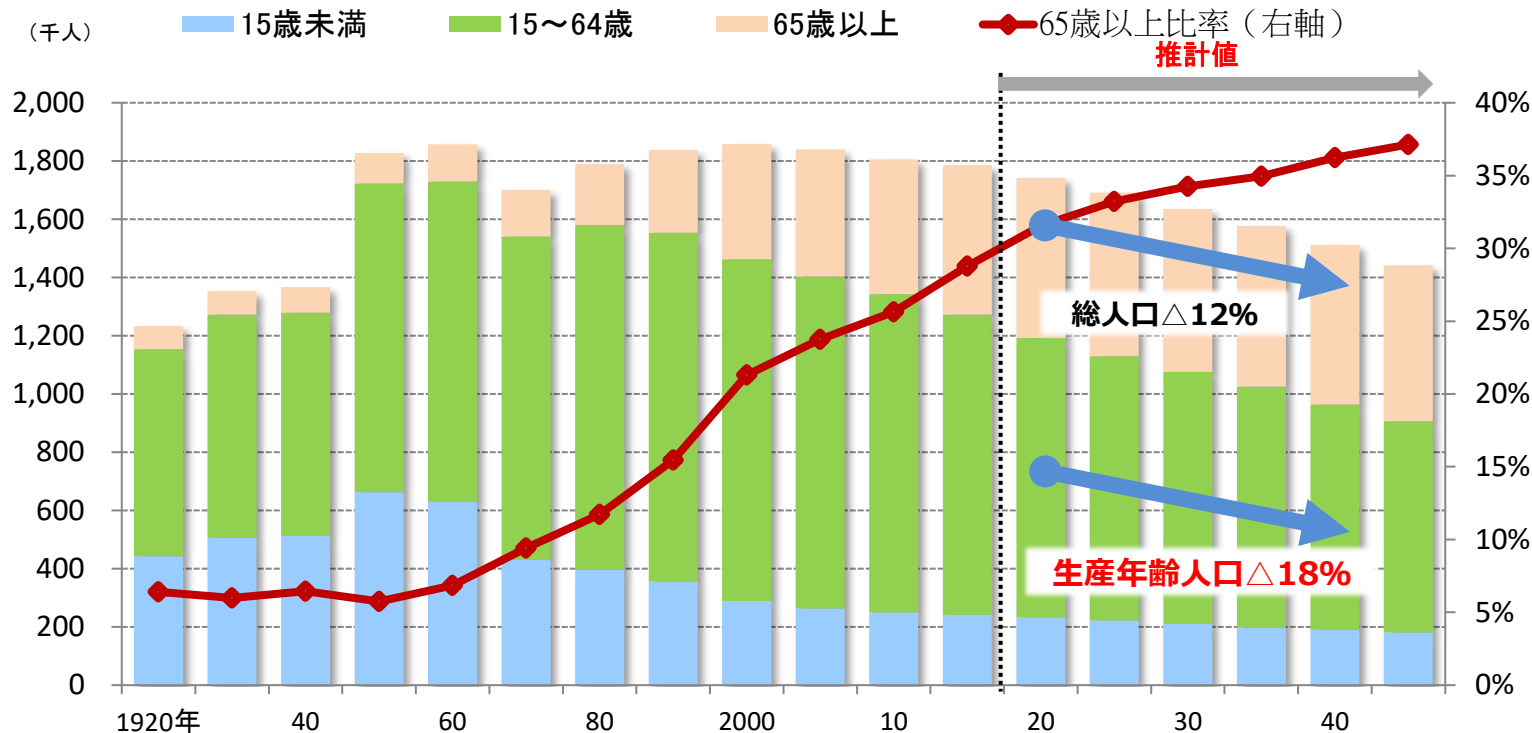
2. (6) 天草地域の経済<域際収支>

- 天草地域は**水産業、宿泊・飲食サービス業、農業**などで稼いでいるが、**卸売業、製造業、食料品**などの資金流出（赤字幅）が大きい



2. (7) 熊本県の将来人口

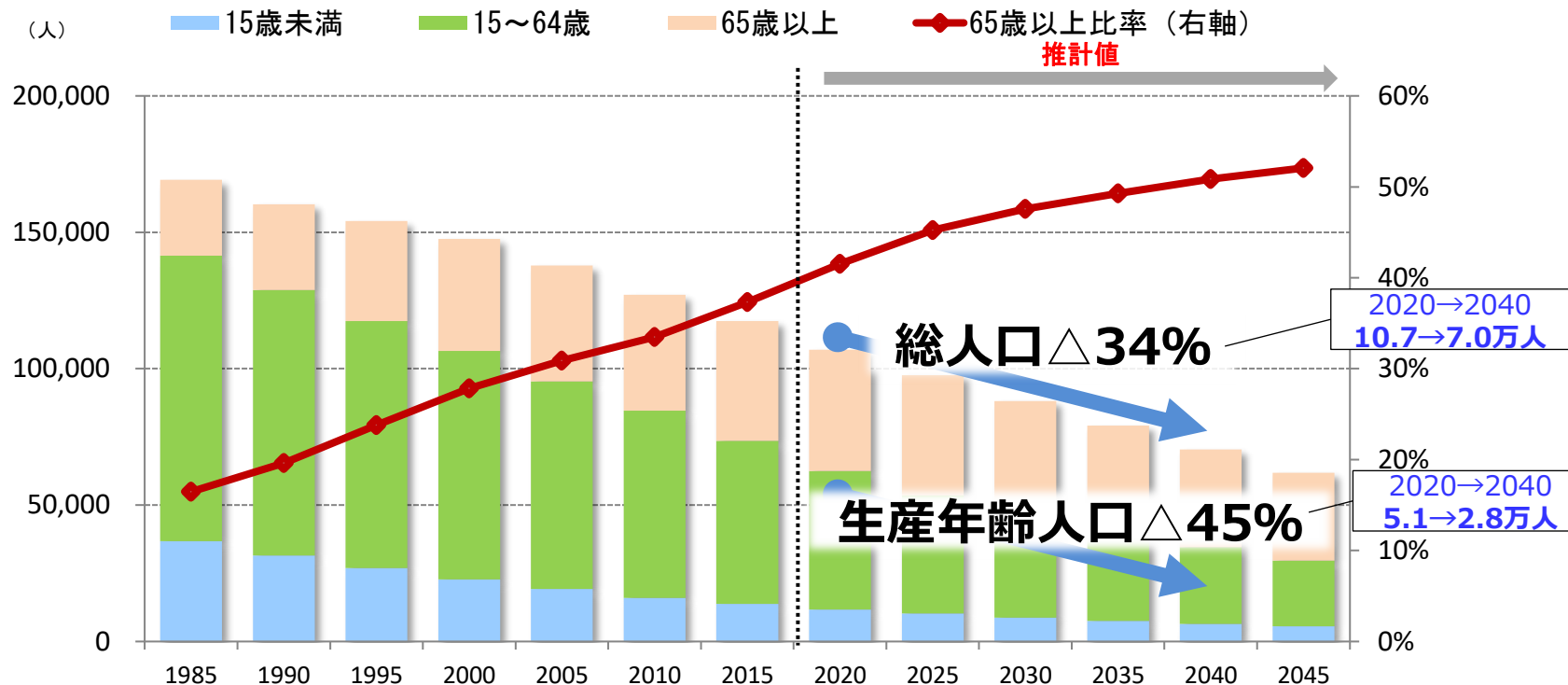
- 熊本県の**総人口**は、2020年170万人から、**2040年**150万人へ $\triangle 12\%$
生産年齢人口は、同94万人から、77万人へ $\triangle 18\%$



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

2. (8) 天草地域の将来人口

- 天草地域は将来において人口減少が確実に かつ**急速に進行**する
- **人口還流や関係人口の増強**が課題



資料: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所

2. (9) 熊本県の人員不足の状況

- 現時点で想定される10年後（2030年）の熊本県の人員不足は以下の通り
- **産業のD X化および地域への移住者増加により、地域経済の維持・成長に繋げる事が課題**

現時点の不足人員

2.8万人

2021年 熊本県有効求人数年間
平均（熊本労働局）

生産年齢人口減

7.2万人

2020年→2030年 生産年齢人口
推計（社会保障・人口問題研究所）
× 生産年齢人口就業率77%

産業振興に伴う
追加労働力

2.0万人

2030年 県GDP・製造品出荷額目標
（2020年熊本県産業成長ビジョン）
より推計

合計

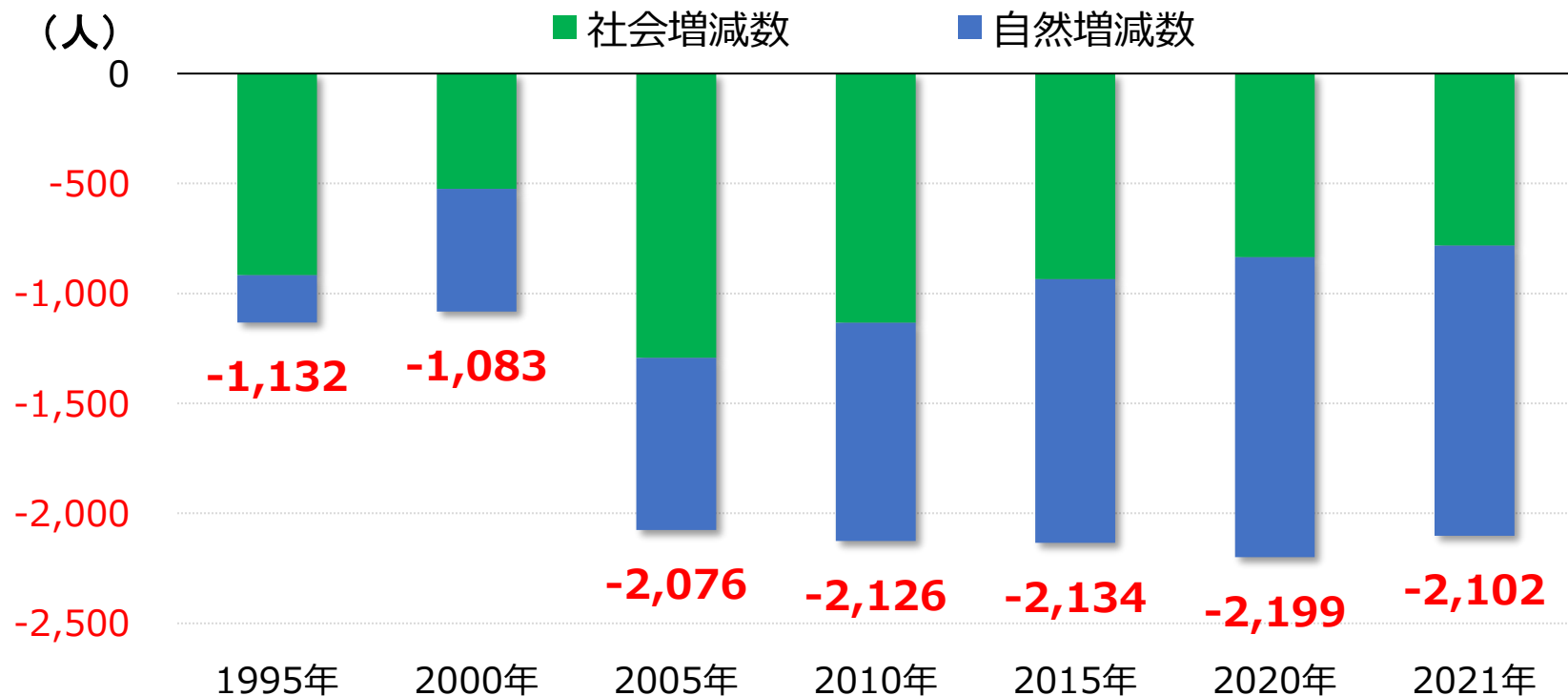
12.0万人

不足

これは**県内就業者数**83万人
（2015年）の**14%に相当**

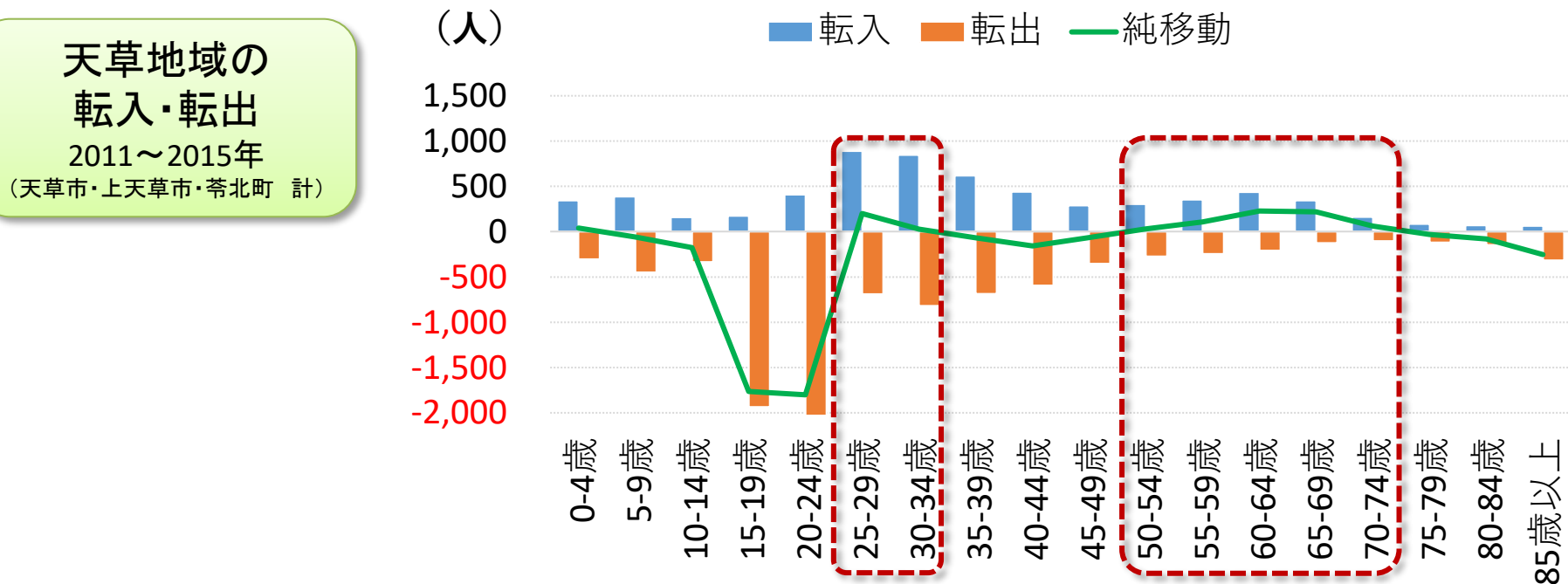
2. (10) 天草地域人口の「社会減」と「自然減」

- 天草地域全体の**人口は確実に減少**している
社会減（転入－転出） 自然減（出生－逝去） 合わせ**毎年2,000人以上の減少**となっている



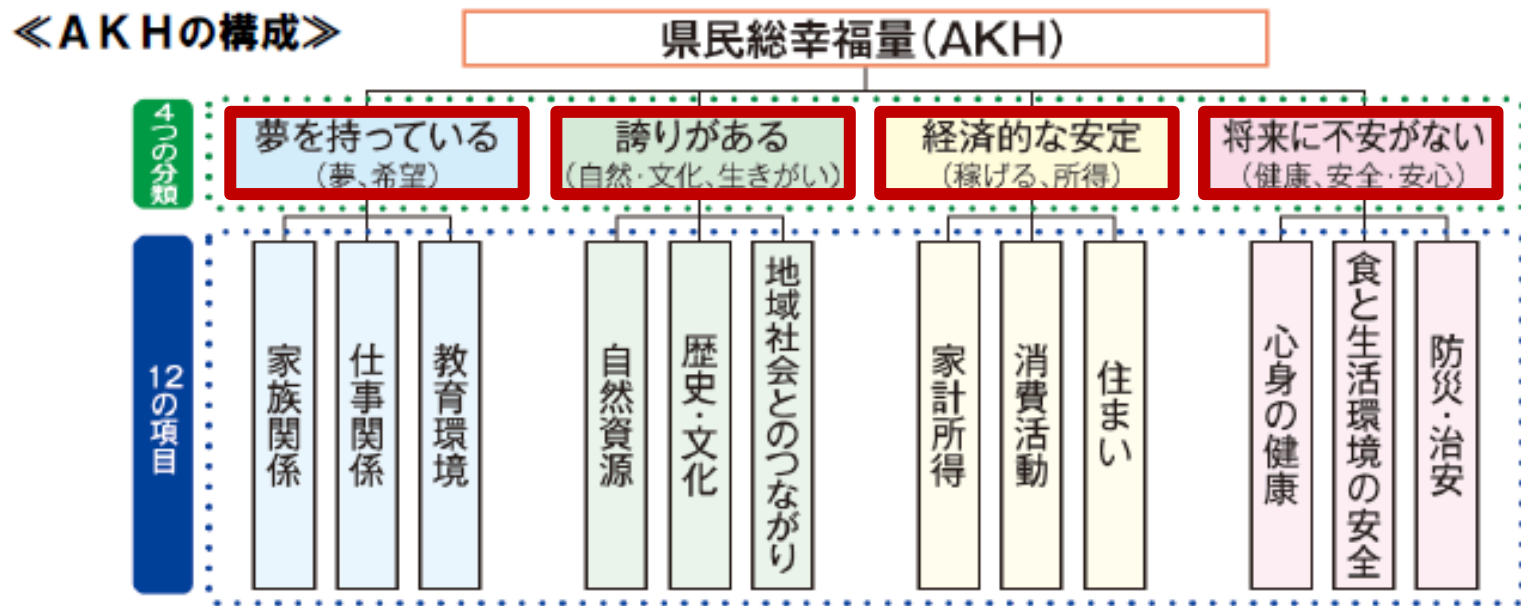
2. (1 1) 天草地域の人口移動＜年齢別純移動人口（転入者数－転出者数）＞

- 年代別に見ると高校・大学生の年代で転出超であるが、**赤枠内の年代は転入超**。戻ってくる家族や、退職後に天草市暮らしを希望する層など、**U I ターンが影響している**と思われる
- 特に**25-29歳の転入超過は、県内郡部の他市町村ではあまり見られない現象**であり、人を呼び込む**天草地域のポテンシャルの高さ（住環境や気候の良さ）**が覗われる



2. (12) 天草地域の幸福度①

- 県民総幸福量（AKH）の観点から、**地域の幸福度**を確認
※「Aggregate Kumamoto Happiness」の略称。**熊本県が独自に作成する指標**

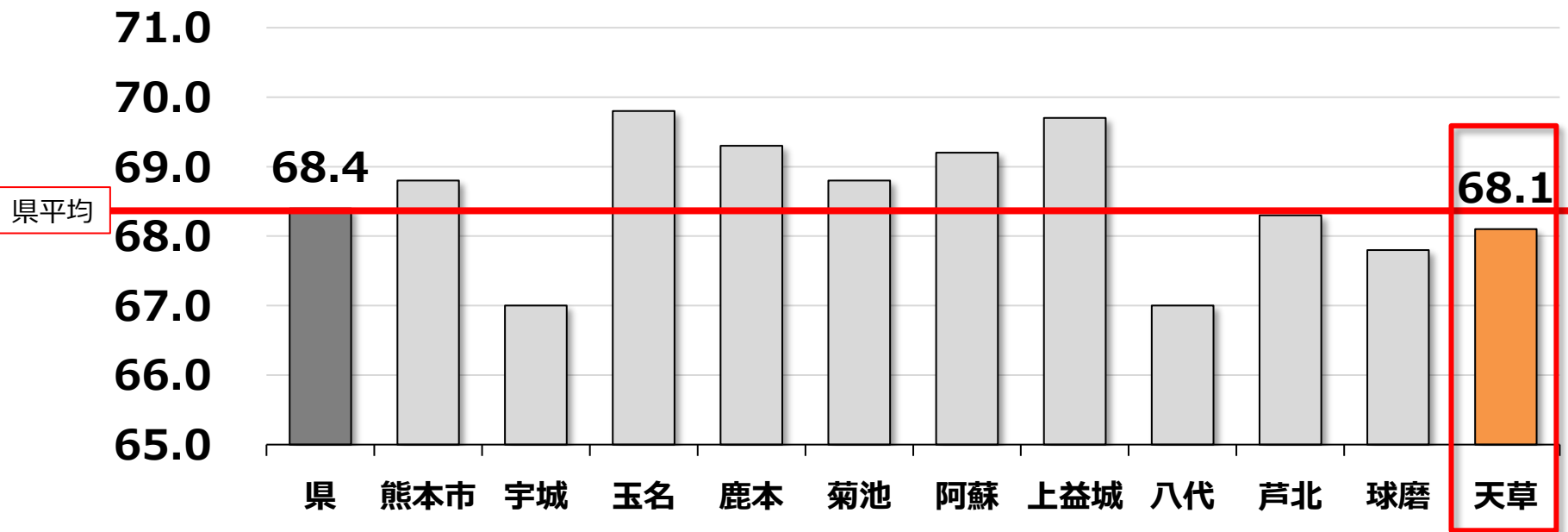


幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類
各分類に属する項目の「満足度」を県民アンケートで測定し指数化。

2. (13) 天草地域の幸福度②

➤ 天草地域の直近のAKHは、**熊本県全体（平均）と比較して同水準**

地域別のAKH



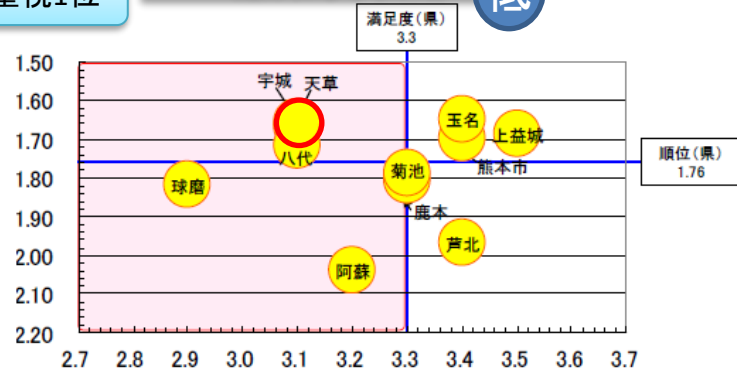
2. (14) 天草地域の幸福度③

- 幸福感の中でも「誇りがある」が他地域よりも満足度は高い（重視する順位は4番目）
- 一方、「経済的な安定」「将来に不安がない」「夢を持っている」項目については満足度は低位

重視1位

経済的な安定

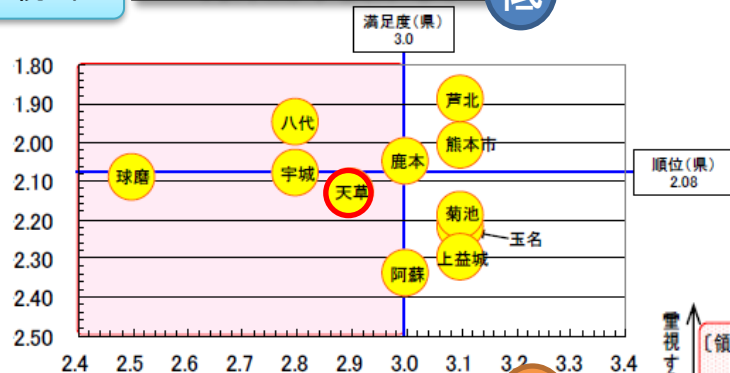
低



重視2位

将来に不安がない

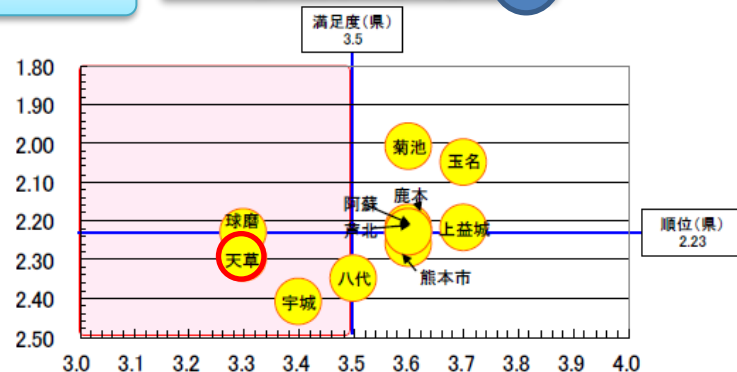
低



重視3位

夢を持っている

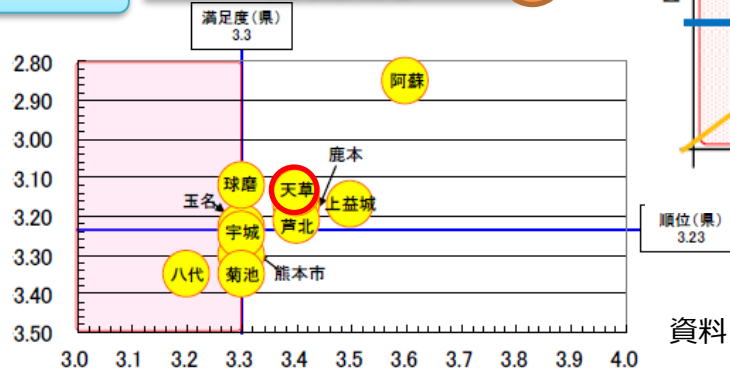
低



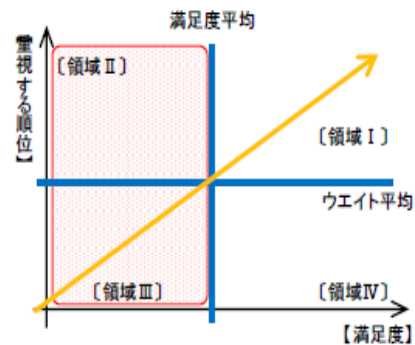
重視4位

誇りがある

高



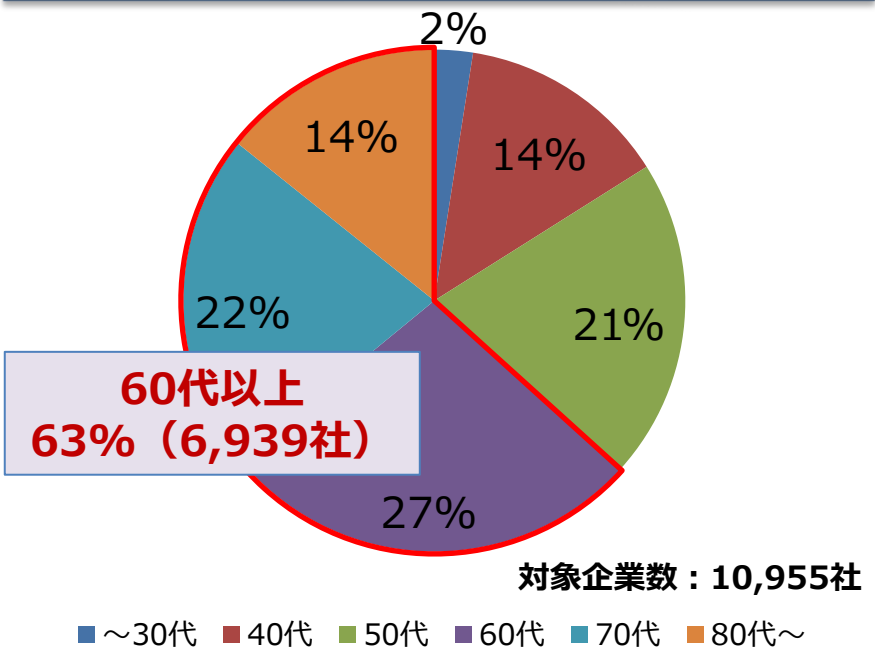
＜図の見方＞



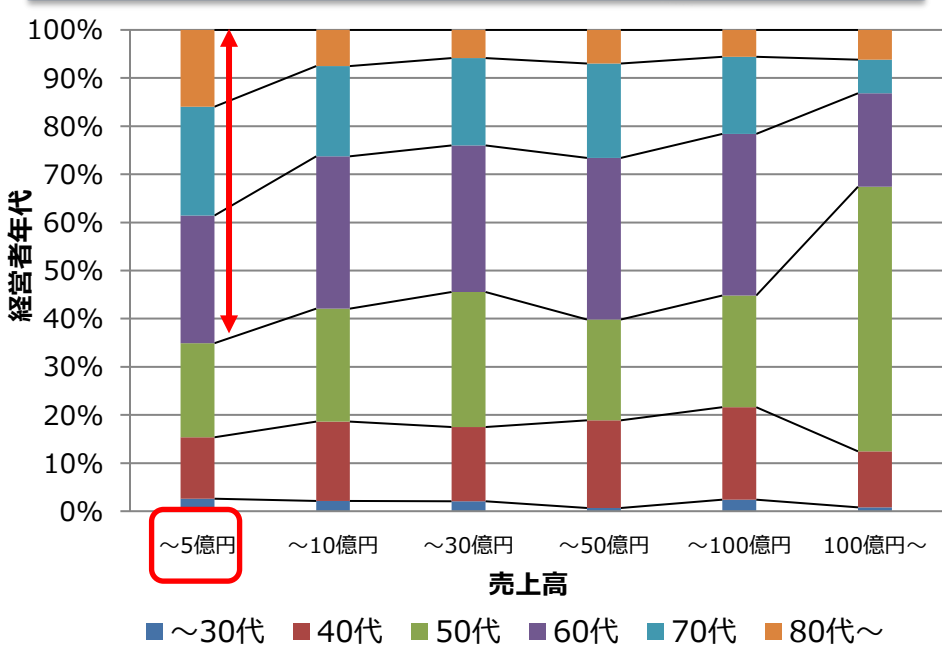
資料：熊本県 2021年度調査

2. (15) 熊本県の事業承継の状況

熊本県内企業経営者の年代



売上規模別 経営者年代構成比



60代以上の経営者が6割以上を占め、特に売上高5億円未満の企業の同比率が高い

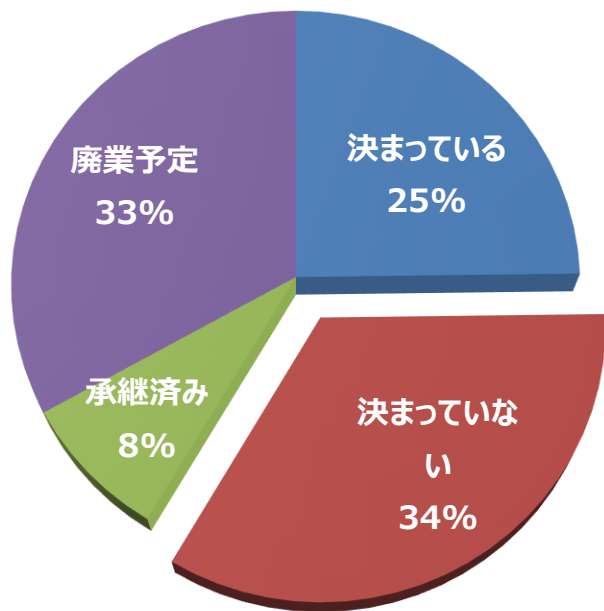
将来的な事業承継が課題

〔出所：肥後銀行取引先データ、帝国データ
バンクCOSMOSデータより作成〕
(2021年8月現在)

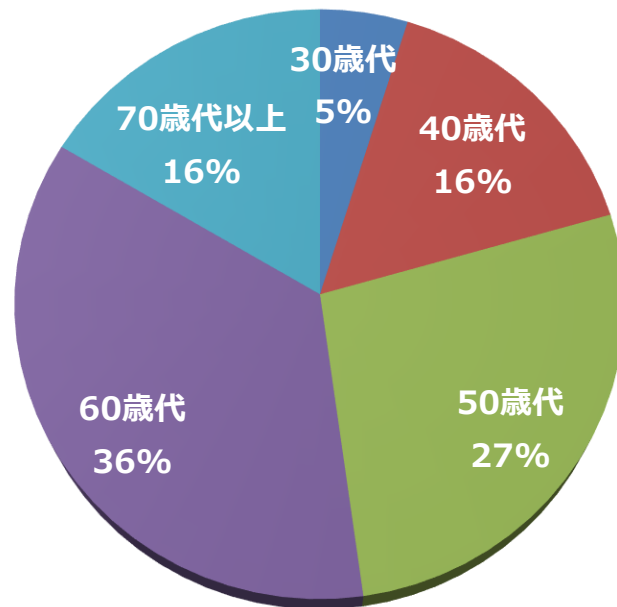
2. (16) 天草市の事業承継の状況

- 事業承継の意向はあるが、**後継者が決まっていない事業者が約3割**
- **その内60歳以上が52%**であり、早期の取組みが課題

後継者の決定状況



後継者が決まっていない経営者の年齢



2. (17) データから見える天草地域の課題について (まとめ)

課題	データ分析結果
企業の利益および個人所得増加	➤ GDP が県はコロナ禍前水準まで回復基調にある一方、天草地域は横ばい
主要産業の域際収支の拡大	➤ 天草地域は水産業、宿泊・飲食、サービス業、農業などで稼いでいる
移住・定住、交流人口の拡大	➤ 天草地域の生産年齢人口の減少が予測されている ➤ 人口減少が確実に、かつ急速に進行する
仕事、所得に対する幸福度向上	➤ 幸福度で「夢を持っている」「経済的な安定」について他の地域より低位
地場企業の事業承継早期対応	➤ 後継者が決まっていない事業者の高齢化

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

天草市まち・ひと・しごと創生推進計画

まち・ひと・しごと創生推進事業

基本
目標 1

天草を支える産業の発展と安定した
雇用を創出する

基本
目標 2

天草への新しいひとの流れをつくる

基本
目標 3

誰もが活躍できる地域社会をつくる

基本
目標 4

市民が誇りを持ち安心して暮らせる
地域をつくる

【SDGs】関連するゴール



重点プロジェクト① <スポーツの拠点づくり> ～天草市スポーツ拠点整備事業～



重点プロジェクト② <自然とともに創るまち> ～イルカと共存できる環境づくり～



3. (2) 天草市の課題

課題名		内容
1	移住から定住の島へ	天草に住んで良かったと思えるように、 移住から定住 に向けたサポート体制の拡充
2	安心して子どもを産み、育てたい	妊娠期から子育て期 にかけて、それぞれの課題に応じた支援の拡充
3	第1次産業の担い手を確保したい	人口の減少に伴う、 農林水産業の将来に渡る担い手の確保
4	恐竜の島づくりを推進	令和6年の開館に向けた「 御所浦恐竜の島博物館 」の整備および観光ツーリズム等の整備
5	陶石の島から陶磁器の島へ	国の伝統的工芸品「天草陶磁器」を核とした 「陶石の島から陶磁器の島」 としての産地化
6	海の玄関口“本渡港”に新たな賑わいを	(仮称)第二天草瀬戸大橋の整備を契機とした、 港としての機能性の向上及び交流拠点化
7	子どもたちに生きる力を	将来を担う子ども達の「生きる力」を育成する為、 天草の伝統・文化・自然・歴史等に触れ合う機会を創出
8	命の翼「みぞか号」の利用促進	福岡市と35分で結ぶ航路であり、地域医療の維持のためにも重要な役割も担っており 利用促進 が急務

上天草市まち・ひと・しごと創生推進計画

魅力的で持続可能なまちづくり

基本
目標 1

上天草市への人の流れをつくる

基本
目標 2

安定した魅力ある雇用を創出する

基本
目標 3

市民の結婚・出産・子育ての
希望をかなえる

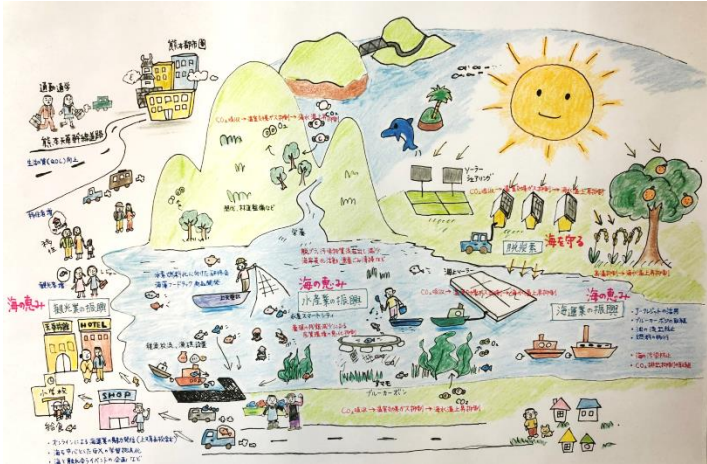
基本
目標 4

魅力的な地域をつくり、
安心で快適な暮らしを創出する

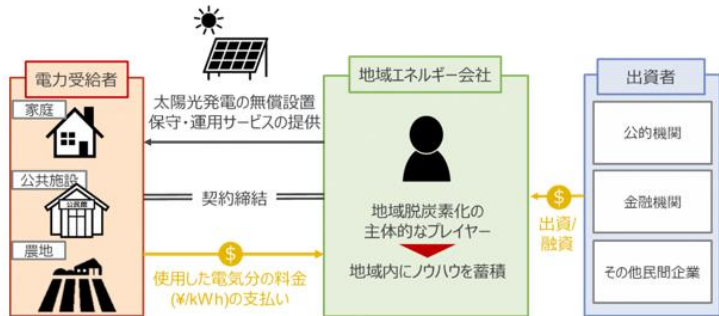
【SDGs】関連するゴール



重点プロジェクト① ＜島々を抱く穏やかな海とともに生き続けるプロジェクト＞



重点プロジェクト② ＜官民連携で行う地域に裨益する 再生エネルギーに関する事業の実施・運営体制の構築＞



3. (4) 上天草市の課題

課題名		内容
1	釣りによる交流人口・関係人口を拡大	「釣り」を核とした 釣具店、遊漁船、宿泊施設、飲食店等が連携した仕組みを構築し、地域への交流人口・関係人口を拡大し、経済波及効果を向上
2	ワーケーションによる地域の活性化	豊かな自然や美しい景観等を生かしたアクティビティを活用しながら、「働く場」として ワーケーションを通じた交流人口・関係人口の増加
3	上天草の景観を活かして映画等を誘致	C Mや映画等のロケ誘致 をさらに促進させ、上天草を好きになり、誇りに想える取組の推進
4	今あるモノ・スペース・スキルで経済発展	市民による空間・移動・スキル・モノ等の共有（ シェアリングエコノミー ）を通じて、観光振興・就業機会の創出・コミュニティ等の課題を解決
5	増加する市内の空き家を活用したい	今後の空き家の発生抑制と利活用のため、空き家だけでなく 空いている旅館やホテルの利活用を推進
6	市内唯一の高校の魅力向上を図りたい	入学者数の増加に転じるような 上天草高校の魅力向上 を目指しています
7	住民主体のまちづくりを支援したい	上天草市では、自助自立のまちづくりの推進に向け、 住民主体の自助自立のまちづくりを推進
8	ナナメ上りを行く取組にチャレンジ	天草地域の斜め上にある本市は、 予想を裏切り、超えてくる、ナナメ上りを行く自治体 を目指し、様々な事業に取組

3. (5) 共通の課題（天草地域・上天草地域）

共通課題	内容
地場産業の発展と雇用創出	➤ 企業誘致、雇用創出 ➤ 一次産業の担い手の確保 ➤ 伝統工芸品などの産地化
賑わい創出と交流人口増加	➤ 交流拠点の整備 ➤ 観光ツーリズム、ワーケーションの推進 ➤ 航路、港の利用促進
移住・定住の促進	➤ 安心した出産、子育て支援 ➤ 子供たちの生きる力の育成 ➤ 高校の魅力向上と人材育成

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

4. (1) 天草地域の展望について

1

天草地域の強みを伸ばす
～域際収支でも上位の水産、観光業の成長～

2

逸失を減らす
～域際支出の減少による、地域循環モデル構築～

3

地域資本の経済資本への転換
～自然（海洋）、歴史（世界文化遺産）等の活用～

4

D X 活用による、地域競争力の確立

5

S D G s による持続可能な環境・社会づくり

4. (2) 天草地域の強みを伸ばす

- 天草の地域産業では、海の豊富な自然資源活用による**水産業および観光業**に強みを持つ
- 自然・食・歴史においては、世界文化遺産やイルカウォッチングなど**独自の魅力的コンテンツ**が多い



西平椿公園「ラピュタの木」



崎津天主堂
崎津集落:2018年7月 世界文化遺産登録



イルカウォッチング



ダイビング (域内各地)



牛深ハイヤ



御所浦白亜紀資料館



人気の食キャンペーン

資料: 各種HPより

4. (3) 天草地域の強みを伸ばす

項目	内容
農林水産業の成長産業化	➤ 経営技術の強化による持続可能な農林水産業振興 ➤ 新たな担い手の発掘と育成 ➤ D X 等による農畜産物の生産性の向上 ➤ 高品質、資源化による林業の振興 ➤ 持続可能な水産業の振興 ➤ 6次化による第一次産品の高価格化、地産地消・地産他消の推進
地域資源を活用した観光産業振興	➤ 世界文化遺産及び自然資源の保全と活用 ➤ 天草の新たな観光拠点づくり ➤ 交通インフラの改善（交通渋滞の解消） ➤ 天草・上天草地域周遊ツーリズムの開発 ➤ 天草産品の域外（特に首都圏）への販路拡大 ➤ T S M C 進出による国内外からの誘客活性化

T S M Cの熊本への進出

- TSMCは世界有数の半導体企業で、ファウンドリーと言われる半導体受託製造企業
 - 2023年9月に日本で初めての熊本工場が竣工予定
- ◆生産高 567億ドル（半導体関連で**世界3位**） ◆時価総額 58.9兆円（**世界9位**）

【県内経済への影響】

- ・**2024年～2026年 経済効果 約1兆8千億円 ・雇用数1,700名以上**
（内訳：設備投資9,800億円、工場の生産高およびメンテナンス7,000億円、住宅整備800億円他）

- 国内外からの**誘客が活性化され、天草をはじめ県内観光地への好影響**が期待される
- 地域における海外旅行客への対応（言語、ハラル対応等食事）への対応が必要

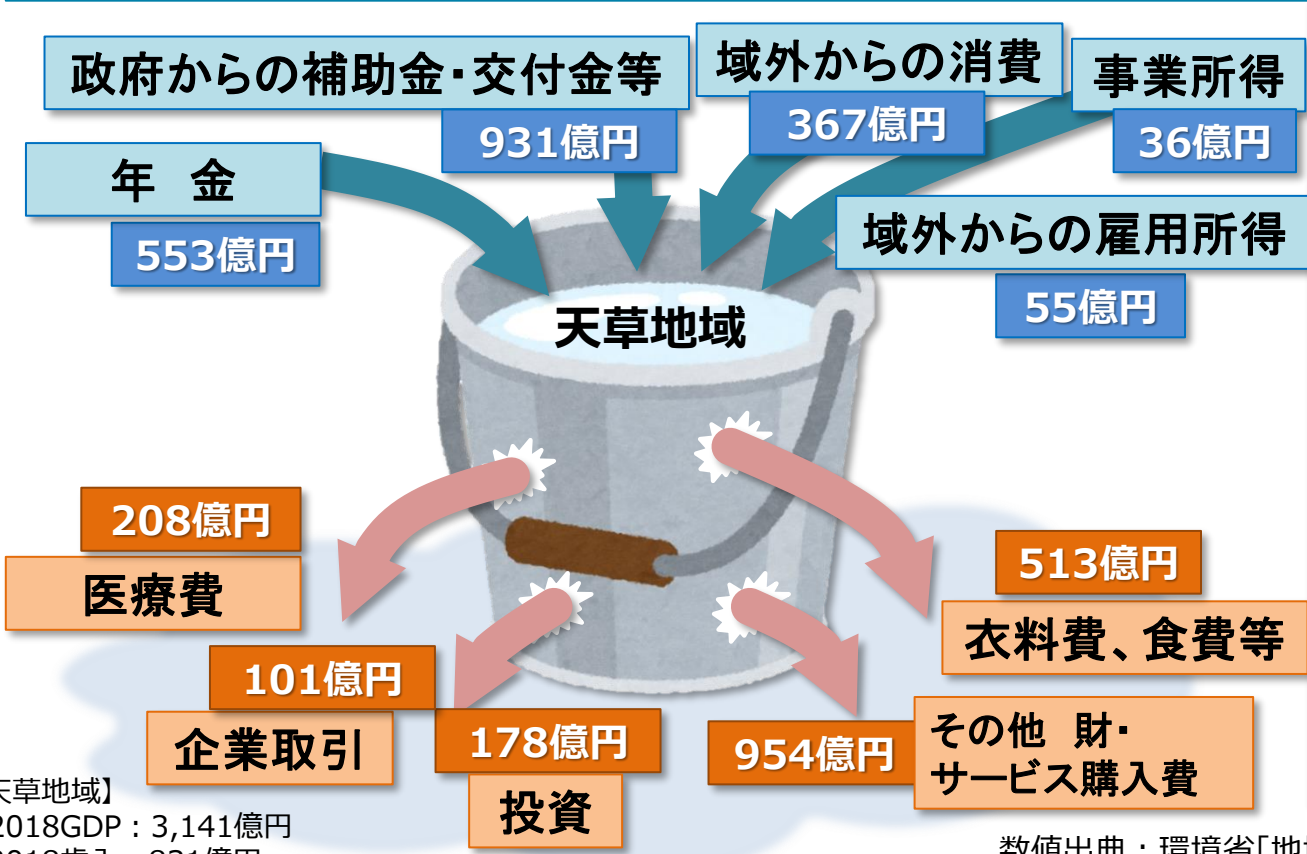
【ご参考】T S M C進出が県内に及ぼす影響

- 県内には直接的・間接的に投資効果が発生する見込み
- 産業界は行政と一体となり、シリコンアイランド九州の復活実現に貢献していく

需要	○県内半導体関連出荷の増加	○物流倉庫需要増大、建設資材の増加
	○アパートを含む住宅ニーズ	○病院、学校教育、飲食など
供給	○協力企業の進出、増産、工場刷新	○倉庫増設を含めた物流需要対応
	○生産増強対応の人員派遣の増員	○ホテルやアパート、住宅開発
投資	○設備投資促進	○物流拠点の新設、トラック増車対応など
	○従業員、建設作業員の住宅投資	○住民向けインフラへの投資
雇用	○域内外からの雇用創出〔TSMCで1,700人〕	○ 地域企業からの人材流出（懸念）
	○従業員、建設作業員を含む雇用確保	○従業員の言語対応（台湾）

4. (4) 逸失を減らす

- 豊かな自然資本・文化資本を人的資本で活用しようという取り組みがなされている。
- しかしながら**地域からは確実に資金が流出しており、これを抑える必要がある。**



漏れバケツ理論

New Economics Foundation (英シンクタンク) が唱える概念。

自治体は、**地域＝「バケツ」**に、**お金＝「水」**を呼び込む施策を打つ。

しかしながら、せっかく地域に**注ぎ込まれたお金の多くは、地元で使われず、外に漏れ出し、地域内で資金が循環していない。**

【天草地域】
2018GDP : 3,141億円
2018歳入 : 831億円

数値出典 : 環境省「地域経済循環分析」2018年推計

4. (5) 地域資本の経済資本への転換

目的

- 熊本大学と連携し、コロナ禍で落ち込んだ**宿泊客を回復させる**為、天草の海と空、イルカをモチーフとした壁画を作り上げて誘客増加へと繋げる。

【概要】

作成場所

天草下田温泉「望洋閣」

作成者

熊本大学教育学部

美術教育学科 松永教授

松永ゼミ学生 4 名

作成時期

2022年3月14日（月）

～3月19日（金）

作品の大きさ

高さ3.07M、幅6.71M

＜完成壁画＞



＜デザイン画＞



4. (6) デジタルトランスフォーメーションとは

DX : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)

I C Tを単に効率化の手段として位置付けるのではなく、
新たな価値を生み出すものと位置付けたうえで、これに即した体制へ転換すること

「企業がビジネス環境の激しい変改に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、**ビジネスモデルを変革**するとともに、**業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を改革**し競争上の優位性を確立すること。（経済産業省「DX推進指標とそのガイダンス」より）

企業が目指すべき方向性

企業が競争上の優位性を確立するには、常に変化する顧客・社会の課題をとらえ、**「素早く」変革「し続ける」能力を身に付ける**こと、その中ではI Tシステムのみならず**企業文化（固定観念）変革**することが重要。

（経済産業省「DXレポート2 中間とりまとめ」より）

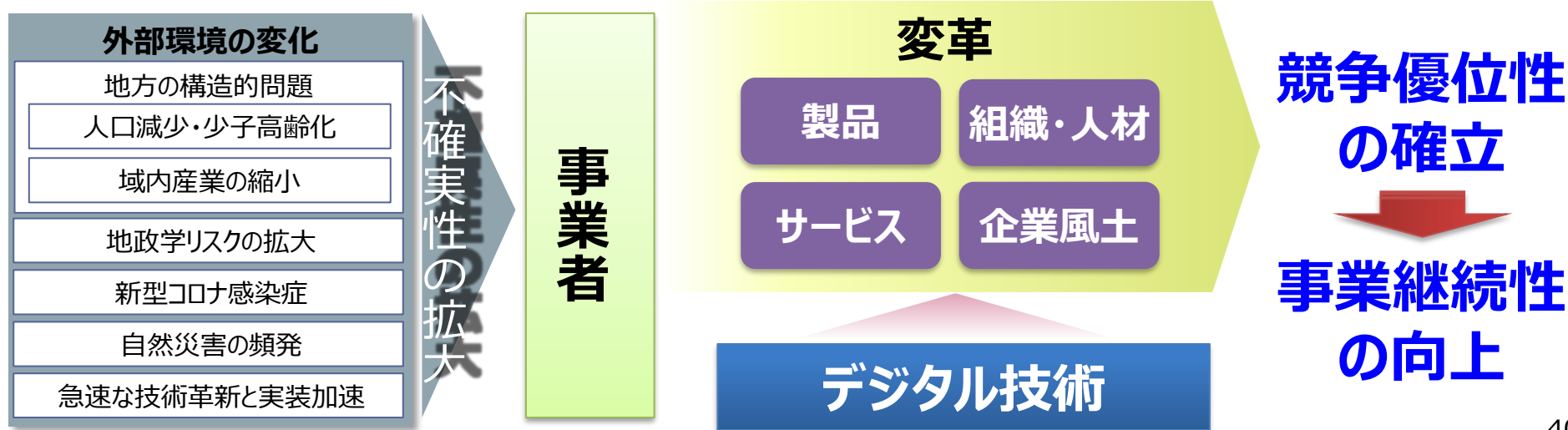


4. (7) DXによる持続可能な環境・社会づくり

「DX」：デジタル・トランスフォーメーション

ビジネス環境の激しい変化に対し、デジタル技術を活用した変革を行い、競争優位性を確立すること

⇒ 永続的な変革を行うためには、**組織・人材、企業風土を含めた変革**が求められる



4. (8) ICT投資による一人あたり生産性の向上

— 人口減少下における一人あたりの生産性向上のために —

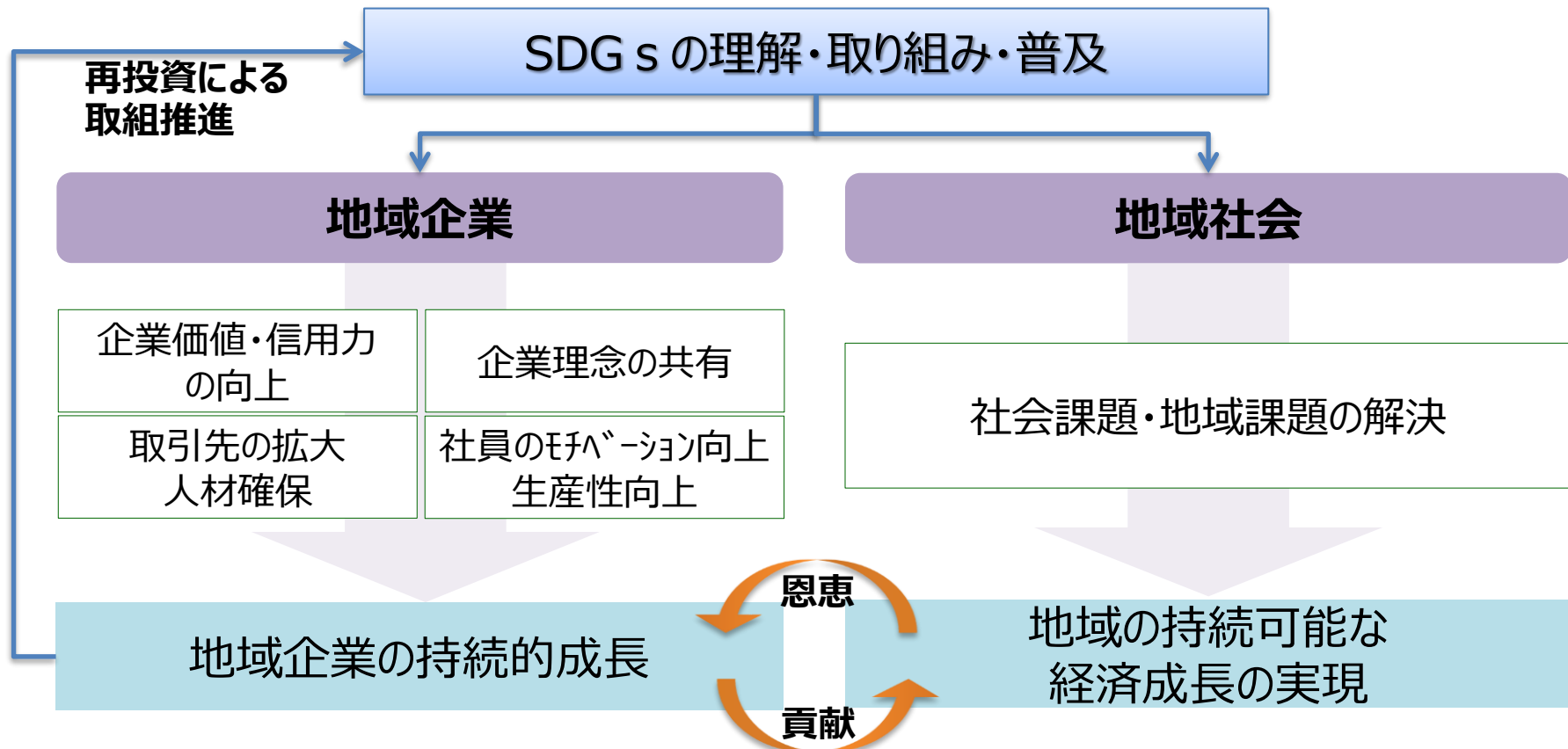
「**地方の主力産業は**農業のほか、小売り、建設といった**中小の非製造業**だ。労働集約型で、人工知能（AI）など新たに登場した技術を使って、**生産性を高める余地が大きい**。大企業の製造業は、機械化で生産性を高めている。**これからは地方の中小企業の方に生産性を劇的に高めるチャンス**がある。」

「技術革新による生産性向上の負の面は、人間の仕事が失われることだ。失業率が高いとき、生産性を上げると失業者をさらに増やすので危険だ。しかし、**今の日本は人手不足なので、絶好のチャンスだ**」

（経営共創基盤CEO富山和彦氏のインタビュー記事より抜粋）

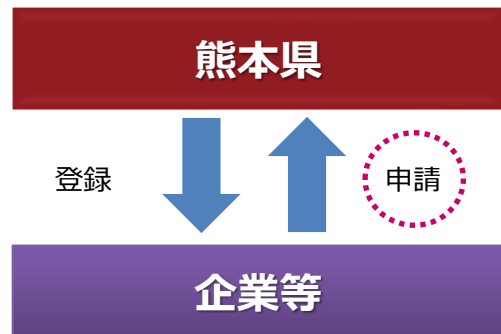
**人手不足の地方こそ、人材育成や
“ICT投資”などによる生産性向上が急務**

SDG s の取り組みは、地域企業の成長に結びつく



4. (10) 熊本県内企業におけるSDGsの動き

熊本県SDGs登録制度の創設



**熊本県・熊本市等と
連携し、熊本県SDGs
登録制度を創設
(2021年4月開始)**

第1期 441社
第2期 570社が登録
(計1,011社)

〔出所:2021.1.21熊本日日新聞朝刊より〕



〔出所:2021.9.10熊本日日新聞朝刊より〕

積極的53.5%で全国1位

4. (11) 天草地域の「熊本県SDGs登録事業者」の状況

- 天草地域の「熊本県SDGs登録事業者」は44社。特に**天草市は熊本市・八代市に続き、県内市町村第3位でありSDGsに対する意識が高い。**



【天草市33社】	(有)天草城観光	UOシャイン保険事務所	(株)川崎建設
天草設備(株)	苓陽工業(株)	共栄建設(株)	天草地域森林組合
天草エネルギー(株)	昭和建設工業(株)	(有)天草ほけんサポート	天草ケーブルネットワーク(株)
(有)手野運送店	(株)オオマス	天草光学(株)	(株)中村建設
さくら保育園	天草信用金庫	(株)野上電設	(株)さとう保険サービス
(株)アマケンテック	(有)橋口工務店	(株)サンライフ21	(有)イタガキ
(株)保険セブン	(株)ナカモト建工	(有)栄剛	(有)益崎塗装店
PHL保険サポート	(株)海老の宮川	丸木水産漁業(株)	(株)ホケン熊本
金子産業(株)	(株)ワーカーパレス天草	【上天草市 7社】	天草池田電機(株)
橋本保険事務所	(株)山口工務店	(有)山本建設工業	(株)西山電設
(有)松島タクシー	(株)雄和海運	【苓北町 4社】	社会福祉法人慈永会
社会医療法人稲穂会	(株)カネマツ	前川建設(株)	

4. (12) SDGs未来都市

SDGs未来都市への選出

- 2018年度より自治体のSDGsの取組支援及び普及展開を目的に「SDGs未来都市」を選定
- 2022年度現在154都市が選出⇒**熊本県内8都市選出（全国最多）**

参考（選出年度順）：小国町、熊本市、水俣市、菊池市、山都町、八代市、**上天草市**、南阿蘇村

SDGs未来都市



「経済・社会・環境」の三側面における
新しい価値創出を通じた地域の持続的な成長

脱炭素先行地域取組みへ向けて・・・

【脱炭素先行地域】

- 2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現する先行地域

【天草地域の取組および可能性】

- ・太陽光発電 ・風力発電 ・バイオマス燃料 ・ブルーカーボン（藻類を活用したCO2吸収）
- ・Jクレジット、Jブルークレジット（CO2吸収の権利化） など

1. プロフィール

2. 熊本県、天草地域の現状

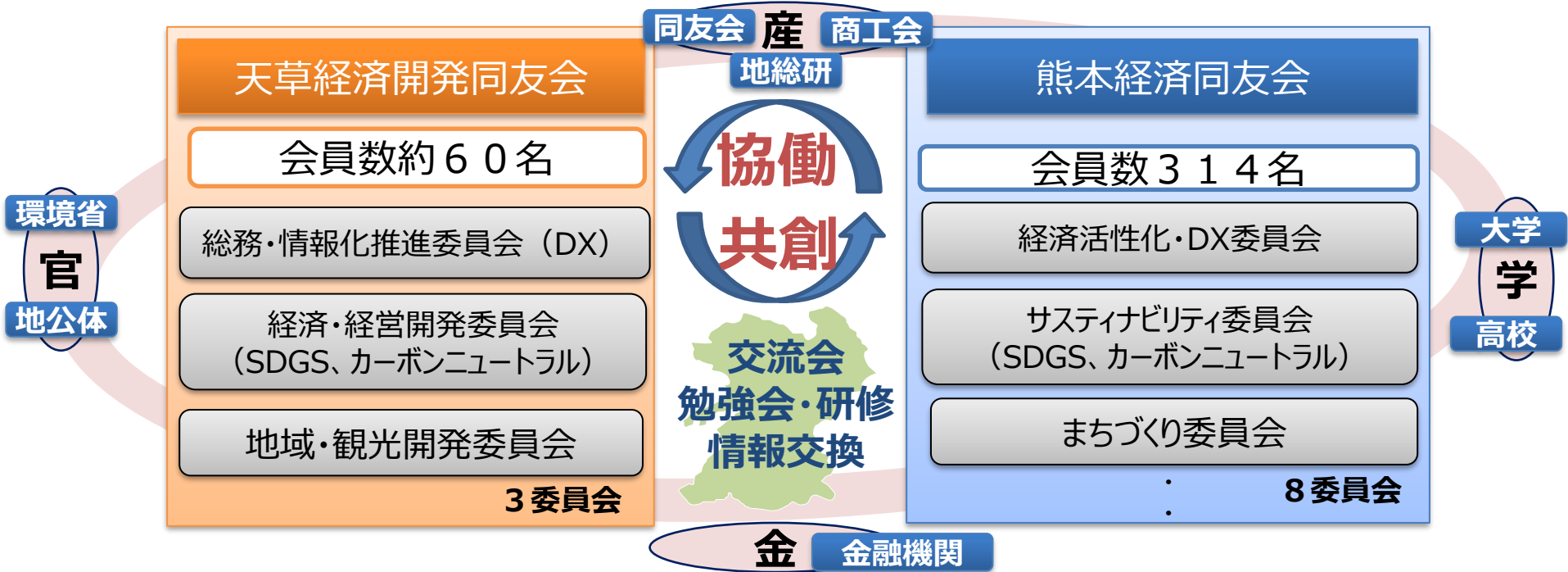
3. 天草地域の課題について

4. 天草地域の展望について

5. 連携による地域の課題解決実践

5. 産学官金連携による地域の課題解決実践

- 産学官金連携により地域経済の様々な課題解決のため**県内各同友会や商工会などが相互に連携し合う態勢を構築したい**



地域社会の課題解決・持続的発展に貢献

肥後銀行 存在意義（パーパス）と10年ビジョン

私達の存在意義＝パーパス



私たちは、お客様や地域の皆様とともに、
お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を
育て、守り、引き継ぐことで、
地域の未来を創造していく為に存在しています

10年
ビジョン

お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する
『地域価値共創グループ』への進化

企業価値の創造

社会の持続的発展への貢献（SDGs）

肥後銀行グループ ソリューションメニュー

各種ソリューションを通じて
お客様の課題解決を
サポートいたします。



お問い合わせは下記店舗までお願い致します

天草支店

天草市南新町6-1

Tel0969-22-2151

牛深支店

天草市牛深町229

Tel0969-73-3121

大矢野支店

天草市大矢野町上2349-5

Tel0964-56-0142

松島支店

上天草市松島町合津7915-42

Tel0969-56-1133

富岡支店

天草郡苓北町富岡3280-1

Tel0969-35-1117



経営戦略

●事業承継

- ・円滑な事業承継を行いたい
- ・株主構成の見直しを行いたい

●M & A

- ・効率的に新規事業に参入したい
- ・事業規模を拡大したい
- ・後継者不在による廃業を回避したい

●SDGs

- ・企業価値を向上させたい
- ・顧客満足度、従業員満足度を向上させたい

●リスクコンサルタント

- ・事業リスクを軽減したい
- ・BCP対策をしたい

●IPO

- ＜九州F G証券㈱＞
- ・株式を上場したい
- ・社内体制を整備したい

●資本政策

- ＜肥銀キャピタル㈱＞
- ・長期で安定的な資金を調達したい
- ・財務体質を改善したい

IT戦略

●IT・DX

- ＜九州デジタルソリューションズ㈱＞
- ・業務の電子化により効率化を図りたい
- ・ITインフラを構築したい

●キャッシュレス決済

- ＜肥銀カード㈱＞

営業戦略

●国際ビジネス

- ・貿易取引の決済をしたい
- ・外貨を調達したい
- ・海外に販路を拡大したい

●ビジネスマッチング

- ・肥後銀行のネットワークを活用したい
- ・事業に役に立つ情報を知りたい

●リース

- ＜㈱肥銀リース・JR九州F Gリース㈱＞
- ・リース取引で設備を調達したい
- ・物件の事務管理を省力化させたい

●クラウドファンディング

- ＜㈱グローバル・クラウドファンディング＞
- ・資金を調達したい

人材戦略

●人材紹介

- ＜肥銀オフィスビジネス㈱＞
- ・優秀な人材を確保したい
- ・外部の専門人材を活用したい

●人材育成

- ＜肥銀ビジネス教育㈱＞
- ・人材育成を加速させたい
- ・人材を定着させたい

財務戦略

●銀行保証付私募債

- ・資金の調達手段を多様化したい
- ・将来の調達コストを確定したい
- ・財務健全性を対外的にPRしたい

●シンジケートローン

●プロジェクトファイナンス

●アセットファイナンス(不動産流動化)

- ・資金調達手段を多様化させたい
- ・財務体質の改善・強化をしたい

産業支援

●医療・福祉

●農林水産

●観光産業

●エレクトロニクス関連

- ・各分野の情報を入手したい
- ・専門性の高い支援を受けたい

資産運用

●資産運用

- ・余剰資金を有効活用したい
- ・将来に向けた資産形成をしたい

●信託

- ・オーナーの相続対策をしたい

ご清聴ありがとうございました

熊本経済同友会

参考画面(TSMC関連)

2021年～2025年までの経済効果は約1.8兆円を予測（銀行試算）

	業種	金額	内容
半導体事業	生産高（'24～2年間）	5,210億円	・LSI：82%（ソニー・デンソー） ・車載用自動運転システム・スマートフォンイメージセンサー：18%（デンソー・ソニー）
工場	土木・建設	9,800億円	・建屋2,000億円 ・製造装置7,800億円
	設備関連		
	メンテナンス（'24～2年間）	1,970億円	・周辺関連企業従事者数3,500人 ・産業用ガス、化学薬品、電子部品関連製造業
周辺	住宅関連	800億円	・新規住宅着工数見込2,600戸
	小売サービス	113億円	・商業施設、飲食、病院、教育機関等
合計		17,893億円	

県内の主な業界への影響（推計）①

	半導体業界	不動産業界
需要	県内半導体関連出荷額：1.4倍 (TSMC年間生産：2,600億円)	物件問合せ増加 工場・倉庫用地、資材置き場、仮設住宅、社宅
供給	協力企業の増産や工場刷新 材料、部材調達の拡大 人材派遣の増員	民間土地開発（19件/49ha） 県営工業団地整備予定（2カ所×25ha） ※広範囲な農振地区のため工業用地限定
投資	需要拡大に向けた旺盛な設備投資 TSMC生産設備投資：7,800億円 【当行半導体関連取引先案件】 34件/71億円	大規模な開発投資が想定される 民間土地開発投資（約100億円） 県営工業団地整備（約70億円） 新規住宅着工関連（約800億円）
雇用	域外からの人材流入と人材流出 TSMC：1,700人の雇用創出 協力企業：約3,500人の雇用創出	不動産活況による不動産業者の増員 人材確保ニーズが高まる可能性

県内の主な業界への影響（推計）②

	建設業界	物流業界
需要	工場建設：2,000億円 協力企業：工場新設・増設 新規住宅着工関連：800億円 周辺開発：病院、学校、商業	工事関連：建設資材の増加 操業関連：増産に伴う輸送量の拡大 物流倉庫需要の拡大
供給	短納期、薄利のため県内業者消極的 県内建設業者のみの対応困難のため、 県外建設業者の受注拡大	倉庫新設や増車にて供給体制確保 物流倉庫の建設
投資	資材置き場の確保 重機・機材調達 宿泊場所や食事の確保	倉庫・物流拠点・増車など投資拡大 倉庫建設投資：20億円
雇用	短納期のため臨時作業員確保 県外建設業者作業員の宿泊先確保	需要拡大により運転手、倉庫作業員確保 ⇒従来より運転手高齢化の課題あり

県内の主な業界への影響（推計）③

	宿泊業界	その他業界
需要	工事関係者の宿泊増加 ～1.8千人：3千人のうち6割県外 TSMC、協力企業の出張者増加	医療：周辺人口増加による需要増 教育：TSMC社員の子弟向け学校 （インターナショナルスクール） 商業：周辺人口増加による需要増
供給	10km圏内の宿泊施設供給不足 周辺ホテル客室：1,111室 コロナ対策としてシングル客室希望あり 阿蘇・市内など広域のホテルまで波及	医療：6病院のみ（1,158床） 教育：中高一貫インターナショナルスクール 新設：約7億円 商業：周辺エリアの飲食店不足
投資	工事関係者向け送迎、昼食対応 出張者向けネット環境整備急務	医療：クリニックの新規開業 教育：インターナショナルスクール等開校 商業：小売・飲食店の新規開業
雇用	客室稼働率上昇時の従業員確保 ～コロナにより従業員削減 従業員の言語対応	医療、学校、商業の開業に伴う従業員の 需要拡大 従業員の言語対応